

## 中国の観光業について

国際文化学部国際文化学科 3年

17011042 千葉明里

## 1. はじめに

私の趣味の一つは旅行であり、留学以前から国内外問わず旅行へよく行っていた。特に中国語を学び始めてからは中国本土や香港など中国語圏への旅行へ行くことが多く、留学期間中には日本にいるときよりも多くの場所へ旅行しようと決めていた。

中国国内の旅行を通して感じたのは、上海や北京などの大都市は外国人観光客も多くいるため英語を話せるスタッフや英語表記のメニューを置いているレストランなどがあるが、地方へ行くと国内観光客へむけたサービスが多く英語が通じない場所も多いということである。私自身卒業後は観光業に携わりたいと考えているため、訪日外国人への対応や日本人の国内旅行について学んだり調べたりする機会が多いが、中国人の中国国内旅行について考えたことはなかった。そこで中国人の国内旅行について調査しようと考えた。また同時にそのことは、日本人の中国旅行の促進につながるのではないかと思われる。そのため今回は中国の観光業についてレポートすることとした。

## 2. 訪日中国人数・訪中日本人数

日本政府観光局(JNTO)によると 2018 年の訪日外客数の総数は 3000 万人を超え、2019 年 1 月から 10 月までの訪日外客数は 2600 万人を超えている。さらに 2019 年に日本に来た外国人の国・地域別の内訳をみると 7 割以上が東アジアから来ており、その中でも中国人の割合が最も高く 800 万人以上であった<sup>1</sup>。そして出国日本人数を見ると 2018 年は約 1900 万人であり、2017 年に比べ 100 万人ほど増加しており、2019 年 1 月から 10 月までの出国日本人数は 1600 万人を超えている<sup>2</sup>。2017 年に中国を訪れた日本人数は 268 万人で

---

<sup>1</sup> 「2019 年 10 月 訪日外客数 (JNTO 推計値)」

([https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/data\\_info\\_listing/xls/191120\\_monthly.xlsx](https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/data_info_listing/xls/191120_monthly.xlsx))

最終閲覧日：2019 年 12 月 14 日

<sup>2</sup> 「統計報道発表資料 (月別訪日外客数/出国日本人数)」

([https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/data\\_info\\_listing/pdf/a6sb87000002kton-att/191120\\_monthly.pdf](https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/data_info_listing/pdf/a6sb87000002kton-att/191120_monthly.pdf))

最終閲覧日：2019 年 12 月 14 日

あり、アメリカに次いで2番目に多く訪れられている<sup>3</sup>。2010年頃から日本から中国へ出国する人数は減少傾向にあったが、2016年からは増加傾向にある<sup>4</sup>。

### 3. 日本の旅行会社から発売されている中国旅行

日本の旅行会社が販売している中国旅行・ツアーは上海・北京・香港行きが多く、ほかの都市はあまり取り扱われていない。今回は2019年12月現在オンラインで購入可能な東京成田・羽田発中国ツアーをJTB、H.I.S、クラブツーリズム、日本旅行の4社で比較した。

JTBから発売されている中国ツアーは10種類あり、半数以上がマカオや香港など中国本土の旅行ではないものである。さらに価格も20万円から40万円ほどであり、同じアジア圏である韓国ツアーと比べると倍以上の価格になっている<sup>5</sup>。そして、航空券とホテルの実際の予約で空港からの送迎などがついていないフリープランの商品は82件販売されており、上海行きが52件、北京行きが20件、広州行きが10件取り扱われている。価格は利用する航空会社や宿泊するホテルによって異なるが、上海・北京行きが約5万円から8万円、広州行きは10万円で販売されている<sup>6</sup>。

H.I.Sでは、上海ツアーが70件販売されており3、4万円、北京ツアーが12件販売されており最も安い商品の価格は4万円で販売されている。そのほかに西安行きが5、6万円で5件、昆明行きが1件13万円、烏鎮・蘇州・無錫などを回るツアー4件が3、4万円ほどで販売されている。そしてフリープラン商品は671件販売されており、上海行きが635件、

---

<sup>3</sup> 「各国・地域別 日本人訪問者数 [日本から各国・地域への到着者数]」

(<https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/20191024.pdf>)

最終閲覧日：2019年12月14日

<sup>4</sup> 「日本人訪問者数の推移」

(<https://statistics.jnto.go.jp/graph/#category--14>)

最終閲覧日：2019年12月15日

<sup>5</sup> 「東京（成田+羽田）発韓国 旅行・ツアー一覧」

([https://ovspkg.jtb.co.jp/pkg/toursearch/search\\_result.aspx?deptplacecd=TY1&destareacd=CHI&destcountrycd=CN&destcitycd=&deptdate=&dayfrom=&dayto=&budgetfrom=&budgetto=&freeword=](https://ovspkg.jtb.co.jp/pkg/toursearch/search_result.aspx?deptplacecd=TY1&destareacd=CHI&destcountrycd=CN&destcitycd=&deptdate=&dayfrom=&dayto=&budgetfrom=&budgetto=&freeword=))

最終閲覧日：2019年12月15日

<sup>6</sup> 「東京（成田+羽田）発中国 旅行・ツアー一覧 | 海外ツアーは【JTB】」

([https://ovspkg.jtb.co.jp/pkg/toursearch/search\\_result.aspx?deptplacecd=TY1&destareacd=CHI&destcountrycd=&destcitycd=&deptdate=&dayfrom=&dayto=&budgetfrom=&budgetto=&freeword=](https://ovspkg.jtb.co.jp/pkg/toursearch/search_result.aspx?deptplacecd=TY1&destareacd=CHI&destcountrycd=&destcitycd=&deptdate=&dayfrom=&dayto=&budgetfrom=&budgetto=&freeword=))

最終閲覧日：2019年12月15日

北京行きが 30 件販売されている<sup>7</sup>。

クラブツーリズムで取り扱われている中国ツアーは 132 件あり、北京や青島などの東北・華北地方への旅行は 19 件販売されており価格は 5、6 万円程度である。烏鎮・桂林、上海・蘇州などを回る華南、華中方面への旅行が 32 件あり 10 万円前後で販売されている。成都・九寨溝、チベットなどの西南方面の旅行商品は 17 件販売されており 20 万円ほどの商品が多い。西安や洛陽などの西北方面は 19 件販売されており同じく 20 万円ほどの価格で販売されている<sup>8</sup>。

日本旅行で取り扱われている中国旅行商品は 86 件で、北京行きが 2 件で 2、30 万円、上海行きが 32 件あり 12 万円から 20 万円ほどの価格である。他にも大連行きが 4 件あり 15 万円ほどで販売されている<sup>9</sup>。

日本で販売されている中国旅行の特徴は、一都市だけに滞在するのではなく周辺の都市と一緒に観光するツアーが組まれることが多いということである。そのため地方への旅行ツアーは値段が高くなっている。さらに日本から地方都市への直行便の数も多くないため航空券とホテル予約だけのフリープランでの販売も少ないのではないかと考える。

### 3. 中国国内旅行と観光資源

2019 年 9 月 27 日に界面新聞が発表した「2019 年中国旅遊業最發達城市排行榜」では旅行客数、旅行総消費額、観光収入の比重、交通の利便性、観光インフラの 5 つの方面から総合して各都市の観光発展度を評価したものであり、上位 50 都市が発表された<sup>10</sup>。

---

<sup>7</sup> 「H.I.S 中部発中国旅行 ツアー・観光一覧」

([https://tour.his-j.com/ct/search/03A\\_20/?default\\_airport=03A\\_20&airport=02A\\_10&area=ASI&country=CHN&tour\\_day=&min\\_price=&max\\_price=&city=](https://tour.his-j.com/ct/search/03A_20/?default_airport=03A_20&airport=02A_10&area=ASI&country=CHN&tour_day=&min_price=&max_price=&city=))

最終閲覧日：2019 年 12 月 15 日

<sup>8</sup> 「中国世界遺産旅行・ツアー・観光 | クラブツーリズム」

([https://www.club-t.com/special/abroad/china/#\\_ga=2.68126357.522484148.1576375229-1252310688.1549263912](https://www.club-t.com/special/abroad/china/#_ga=2.68126357.522484148.1576375229-1252310688.1549263912))

最終閲覧日：2019 年 12 月 15 日

<sup>9</sup> 「格安の中国旅行・中国ツアーを探す(アジア)【日本旅行】」

(<https://www.nta.co.jp/kaigai/asia/china/>)

最終閲覧日：2019 年 12 月 15 日

<sup>10</sup> 図 1、2 「2019 年中国旅遊業發達城市排行榜：北京、重慶、上海連続三年領銜前三，成都、西安提升很快」

(<https://www.jiemian.com/article/3536255.html>)

最終閲覧日：2019 年 12 月 15 日

北京、重慶、上海の上位3都市は旅行者数だけではなく旅行消費額や交通の利便性、インフラの整備状況においても上位に入っている。特に北京は歴史的建造物や自然なども豊富な都市で、三年連続で総合1位を獲得した観光都市である。さらに今年中華人民共和国設立70周年を迎えた国慶節の期間には7日間で920万人以上の旅行客が北京を訪れ観光消費総額は111億元と言われている<sup>11</sup>。総合2位の重慶は2018年の観光客数が北京や上海よりも多い。重慶は「便宜大碗、好玩不貴(物価が安く売られているものの品質も良い、お金を使わずに楽しむことができる)」と言われており、物価が比較的安く、重慶大足石刻景区などの国家A級観光スポットが200か所以上と多いことからほかの都市よりも多くの観光客が訪れたとされている。そして、「東洋のパリ」とも呼ばれる上海は西洋の文化と中国の文化を融合させた街であり、国際経済、金融貿易などの中心都市となっている。

さらに、このランキングには中国人だけではなく、外国人が最も多く訪れた年も掲載されている。2018年に最も多くの外国人が訪れた中国の都市は深圳であった。広東省の深圳は

2019中国旅游城市排行榜												
排名	排名变动情况	城市	旅客总人数		旅游总收入		旅游收入比重		交通便利程度		旅游基础设施	
			分值	排名								
1	→	北京	0.5073	3	1.0000	1	0.0463	31	1.0000	1	1.0000	1
2	→	重庆	1.0000	1	0.7083	3	0.0528	28	0.8349	3	0.7406	2
3	→	上海	0.5676	2	0.8467	2	0.0322	38	0.9379	2	0.4532	3
4	→	广州	0.3490	8	0.6462	4	0.0392	35	0.7521	4	0.2421	11
5	→	天津	0.3593	7	0.6292	5	0.0510	30	0.2749	14	0.2983	7
6	↑	成都	0.3837	6	0.5915	6	0.0631	23	0.3746	9	0.2744	8
7	↓	杭州	0.2812	11	0.5687	7	0.0717	20	0.3739	10	0.3709	4
8	→	武汉	0.4618	4	0.4899	8	0.0527	29	0.6151	5	0.1292	28
9	↑	西安	0.3914	5	0.3774	10	0.0862	16	0.3330	11	0.2262	12
10	↓	苏州	0.1887	21	0.3874	9	0.0266	44	0.4346	6	0.1944	17

図1：2019年中国旅遊業最發達城市排行榜上位10都市

哪些城市最吸“洋气”？			
入境游客人数排名	城市	所属省/直辖市/自治区	2018年入境旅游人数(万人次)
1	深圳	广东	1220
2	广州	广东	901
3	上海	上海	894
4	张家界	湖南	562
5	厦门	福建	430
6	杭州	浙江	421
7	北京	北京	400
8	重庆	重庆	388
9	成都	四川	341
10	桂林	广西	300

図2：外国人が最も訪れた都市

中国の経済特区であり、改革開放の窓口となり新興移民の都市である。さらに香港の北側に位置していることから、多くの人々が深圳を経由して中国に入国している。そのため中国内で外国人が最も多く訪れた年として1位になった。しかし、深圳の外国人消費額は北京や上海より少なく、一人当たりの消費額は上海の消費額825USドルの半分程度の419USドルであった。

<sup>11</sup> 「2019国慶七天北京迎遊客超920万人次」  
<http://bj.bendibao.com/news/2019108/264577.shtml>

このランキング 50 位に入った都市の分布をみると、寧波や温州など浙江省の都市が 8 都市、蘇州・無錫や南京など江蘇省の都市が 5 都市、青島や済南などの山東省の都市が 4 都市であった。この 3 つの省は中国の東側・沿海部に位置しており、3 省とも近い位置にあるのがわかる。

図 3：中国地図



ところで、中国の観光資源は山や川などの自然景観などに関する自然資源と、歴史的建造物・文化遺産、古代の人々の習慣や風習などの人文資源、そして民族やその土地ならではの習慣などの社会資源の 3 つに分類されている<sup>12</sup>。

自然資源の代表は中国名山である。中国には数多くの名山があり、「三山」と呼ばれる安徽省黄山・江西省廬山・浙江省雁蕩山や、「五岳」と呼ばれる東岳泰山(山東省)・南岳衡山(湖南省)・西岳華山(陝西省)・北岳恒山(山西省)・中岳嵩山(河南省)などがある。さらに「仏教五大名山」「道教四大名山」などと呼ばれる山もある<sup>13</sup>。そして名山のほかには「四大自然保護区」と呼ばれる長白山自然保護区(吉林省)・鼎湖山国家級自然保護区(広東省)・梵浄山自然保護区(貴州省)・臥竜国家級自然保護区(四川省)や<sup>14</sup>、長江・黄河・黒竜江・珠江の四

<sup>12</sup> 「旅遊資源\_百度百科」

(<https://baike.baidu.com/item/旅遊資源/877815>)

最終閲覧日：2019 年 12 月 16 日

<sup>13</sup> 「中国名山\_百度百科」

(<https://baike.baidu.com/item/中国名山>)

最終閲覧日：2019 年 12 月 16 日

<sup>14</sup> 「中国四大自然保護区の名称\_百度知道」

(<https://zhidao.baidu.com/question/17185117.html>)

最終閲覧日：2019 年 12 月 16 日

大名河などがある<sup>15</sup>。

人文資源には自然資源にも含まれている五大仏山や四大道山に加えて、四大古都の西安・南京・北京・洛陽や<sup>16</sup>、三大古建築群の北京故宮・曲阜孔子廟・承德避暑山荘などが含まれる<sup>17</sup>。

社会資源としては、中国四大名錦の南京で作られている雲錦・成都の特産である蜀錦、蘇州で作られた宋錦、僮錦とも呼ばれる広西壮族自治区の壮錦や<sup>18</sup>、中国四大名繡の蘇繡・蜀繡・湘繡・粵繡などの伝統刺繡工芸品が代表的なものとして挙げられる<sup>19</sup>。



図4：四大名錦

---

<sup>15</sup> 「中国四大名河\_百度知道」

(<https://zhidao.baidu.com/question/44262461.html>)

最終閲覧日：2019年12月16日

<sup>16</sup> 「中国四大古都\_360百科」

(<https://baike.so.com/doc/4317159-4521343.html>)

最終閲覧日：2019年12月16日

<sup>17</sup> 「中国三大古建築群\_百度百科」

(<https://baike.baidu.com/item/中国三大古建築群>)

最終閲覧日：2019年12月17日

<sup>18</sup> 図4 「四大名錦\_百度百科」

(<https://baike.baidu.com/item/四大名錦>)

最終閲覧日：2019年12月17日

<sup>19</sup> 「四大名繡\_百度百科」

(<https://baike.baidu.com/item/四大名繡>

[/96686?fromtitle=%E5%9B%9B%E5%A4%A7%E5%88%BA%E7%BB%A3&fromid=4531264](https://baike.baidu.com/item/四大名繡/96686?fromtitle=%E5%9B%9B%E5%A4%A7%E5%88%BA%E7%BB%A3&fromid=4531264))

最終閲覧日：2019年12月17日

#### 4. 中国国内移動手段

中国は陸地面積が約 960 km<sup>2</sup>であり、日本の約 25 倍の面積である<sup>20</sup>。中国国内の移動手段には、主に飛行機と高速鉄道という日本の新幹線のようなものがある。中国には 100 か所以上空港があり、北京首都国際空港・上海浦東国際空港・上海虹橋国際空港・広州白雲国際空港・成都双流国際空港・深圳宝安国際空港・昆明長水国際空港・西安咸陽国際空港・重慶江北国際空港・杭州蕭山国際空港は、利用者数の多さから十大飛行場と呼ばれている<sup>21</sup>。さらに、現在高速鉄道の建設も進んでいる。現在高鉄の路線は縦横それぞれ 8 路線あり、その他にも各都市を結ぶ路線が 10 路線ほどある<sup>22</sup>。

図 5：高鉄路線分布図



#### 5. おわりに

中国と言っても北方と南方では文化や風習、気温なども異なり、多民族国家であるため少数民族の文化圏ではほかの土地とは全く違う風景を楽しむことができる。さらに、中国の一

<sup>20</sup> 「中華人民共和国\_百度百科」

(<https://baike.baidu.com/item/中華人民共和國/106554>)

最終閲覧日：2019 年 12 月 18 日

<sup>21</sup> 「中国十大機場\_百度百科」

(<https://baike.baidu.com/item/中国十大機場/695852>)

最終閲覧日：2019 年 12 月 19 日

<sup>22</sup> 「高鉄網」

(<http://crh.gaotie.cn/>)

最終閲覧日：2019 年 12 月 18 日

つの特徴として北京や上海などの大都市では、歴史的建造物と現代的な建築物が混在しており、どちらも楽しむことができるということがあげられる。さらに青島や香港など過去に植民地支配を受けていた都市では今でもその影響を受けた建物や文化を楽しむことができる。

私が旅行関係の仕事に携わりたい理由の一つは、行く都市によって全く違う印象を受ける中国という国により多くの日本人が訪れ観光を楽しんでほしいと考えているためである。その手助けをし、両国間での交流が盛んにおこなわれるようになることを望んでいる。